

今年度の重点課題(学校アクションプラン)

令和5年度 富山視覚総合支援学校アクションプラン — 1 —	
重点項目	学校生活
重点課題	地域住民参加の防災避難訓練の実施
現 状	本校は、常願寺川の氾濫浸水指定地域内に位置しており、富山市の指定緊急避難場所の一つとして指定されている。そのため、平成25年から、本校の地震及び浸水を想定した防災避難訓練に地域住民にも参加を呼びかけ地域合同防災訓練を実施していた。しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大により中断している。自然災害はいつ起こるか分からないため、普段からの訓練は大切である。地域からも再開を希望する声を聞いている。また、新型コロナウイルス感染症が5月8日より5類感染症に変更され再開可能になったため、地域合同防災避難訓練の実施を計画する。
達成目標	地域住民とともに防災意識を高める取組2つ以上
方 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訓練後に、専門家による講評を含めた防災講習会を実施する。</li> <li>・生徒と一緒に作成した防災パンフレット等を地域住民に配布する。</li> </ul>

令和5年度 富山視覚総合支援学校アクションプラン — 2 —	
重点項目	その他
重点課題	あん摩マッサージ指圧・はり・きゅう～視覚障害者の職業～と理療科の発信
現 状	江戸時代以降、多くの視覚障害者があん摩術や鍼術を生活の糧としてきた。ICT が普及し、視覚障害者の職域が拡大したと言われる現代になっても、働く視覚障害者の3割以上（重度視覚障害者の5割以上）があん摩マッサージ指圧・はり・きゅう（以下、「あはき」とする）を職業としている。あはきは視覚障害者が職業的自立を可能にする数少ない職種であることに変わりはない。 現在本校理療科に在籍している生徒の学びと資格取得への意欲を高め、就労や活躍の場を広げ、未来を開くために、より多くの方にあはきに触れてもらうため、また、あはきの資格取得を目指して本校に入学を希望する人を増やすためにも、あはきと本校理療科をもっと知ってもらう取組や発信が必要である。
達成目標	あん摩マッサージ指圧・はり・きゅうと理療科を発信する取組を3つ以上実践する
方 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あはきや理療科について、誰に向けたどのような発信・情報が求められているのか、どのような方法で発信するか・できるかをこれまでの本校での活動や他県理療科の先行事例などを含めて検討し、具体的に取り組む内容の案を出し合い絞り込む。</li> <li>・①本校理療科で学ぶ生徒に向けて、授業では学べない臨床家の手と技と言葉を通して、生徒のあはきへの興味と資格取得に向けた学びの意欲を高める講演会を実施する。</li> <li>②職や生き甲斐を求めている視覚障害者に向けて（本校ホームページを通して）、入学時や入学後に必要な経費や経済的な負担について、本校の国家試験の合格率や就職状況などの実績について、<u>情報を本校ホームページに掲載する。</u></li> <li>③一般の方に向けて、資格を有する職員（可能であれば生徒も加わって）による企業等での<u>マッサージデモンストレーションを実施する。</u></li> <li>・①②③に向けた取組を技術面の課題や協力者確保の課題などを解決しながら一つでも多く実践する。必要に応じて内容や方法を見直しながら、より良い取組・発信とする。</li> </ul>

(評価基準 A：達成した B：ほぼ達成した C：現状維持 D：現状より悪くなった)